



コンドーテック株式会社

中期経営計画 (2024年3月期～2026年3月期)

2023年5月12日



久場鉄華(くばてっか)

中期経営計画の修正



- ・減損損失の影響を除けば2023年3月期の業績が計画を上回ったことなどを勘案し、2022年5月13日に公表した中期経営計画の業績目標を修正することとした

修正後	単位：百万円			2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
	売	上	高	78,000	81,500	85,000
	営	業	利 益	4,500	4,650	4,800
	経	常	利 益	4,700	4,800	5,000
	親会社株主に帰属する 当期純利益			2,900	3,000	3,150

修正前	単位：百万円			2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
	売	上	高	70,000	74,700	78,000
	営	業	利 益	3,810	4,150	4,400
	経	常	利 益	3,970	4,230	4,500
	親会社株主に帰属する 当期純利益			2,470	2,700	2,900

2023年3月期の振り返り

- ・需要回復に加え、価格転嫁が進んだ結果、産業資材・鉄構資材・電設資材が増収増益
- ・需要は回復したものの、外注比率が増加した結果、足場工事が増収減益

単位：百万円		2022年 3月期	2023年 3月期	増減	概況	トピック
産業資材	売上高	33,861	37,610	+ 3,748	・建設需要の回復に加え、価格転嫁が進み、増収増益	
	営業利益	1,995	2,352	+ 356		
鉄構資材	売上高	16,098	19,963	+ 3,864	・大型物件を中心とした鉄骨需要の回復に加え、価格転嫁が進み、増収増益	・群馬営業所開設
	営業利益	1,304	1,712	+ 407		
電設資材	売上高	8,610	9,502	+ 892	・設備投資の回復に加え、価格転嫁が進み、増収増益	
	営業利益	233	313	+ 79		
足場工事	売上高	7,568	8,371	+ 803	・建設需要は回復したものの、外注比率の増加により売上総利益率が低下し、増収減益	・産業資材から分離
	営業利益	91	△ 3	△ 94		
連結合計	売上高	66,139	75,447	+ 9,308		・札幌工場ISO14001取得 ・自己株式取得
	営業利益	3,594	4,355	+ 760		

利益配分に関する基本方針の変更

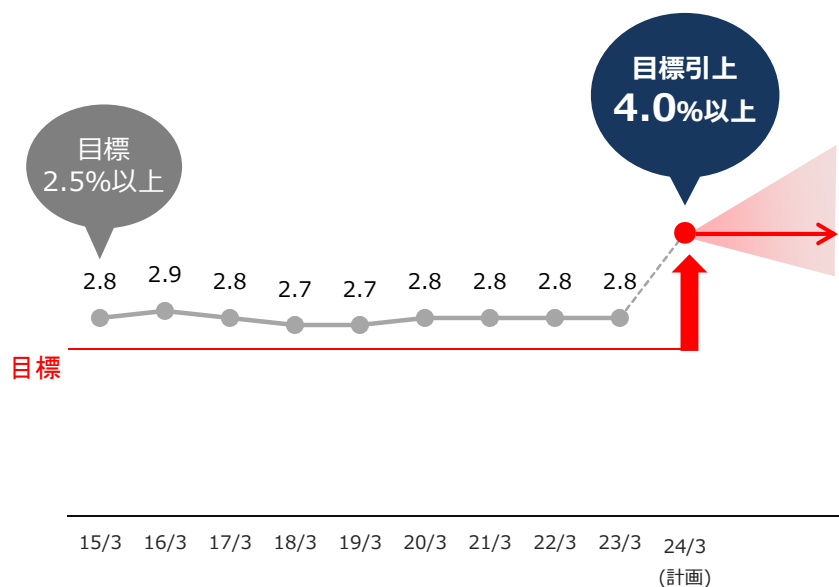
- ・配当水準の向上により、株主の皆様に対する利益還元を一層強化するため、中長期的な業績および資本効率などを総合的に勘案し、利益配分に関する基本方針を変更した

2024年3月期より、DOEの目標を2.5%以上から4.0%以上に引き上げる

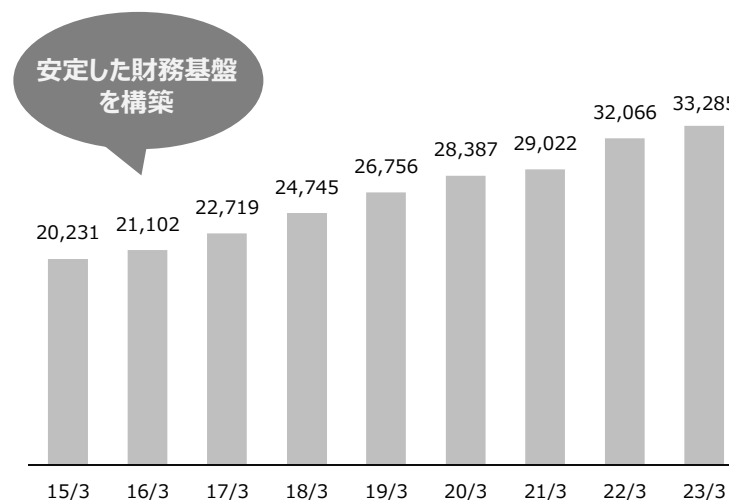
DOE

純資産の中から配当金として還元する割合を示しており、一時的な利益の増減に左右されず安定的な配当の実現を可能とする指標となる

■ DOEの推移



■ 純資産の推移 (単位：百万円)



- ・適切な資金配分により、経営基盤を強化し成長戦略を推進することで、事業環境の変化に対応しつつ、持続的な成長、長期的な企業価値向上を目指す

持続的な成長、長期的な企業価値向上

2020年代中
売上高 **1,000億円**

ROE **10%以上**
DOE **4.0%以上**



成長戦略

- オーガニック
- 周辺強化
- M&A



経営基盤強化

- SDGsの目標達成への取組
- デジタル技術の活用



資金配分

- 設備投資
- 戦略投資

・売上高・利益の極大化、株主還元の更なる充実（増配継続）を目指す

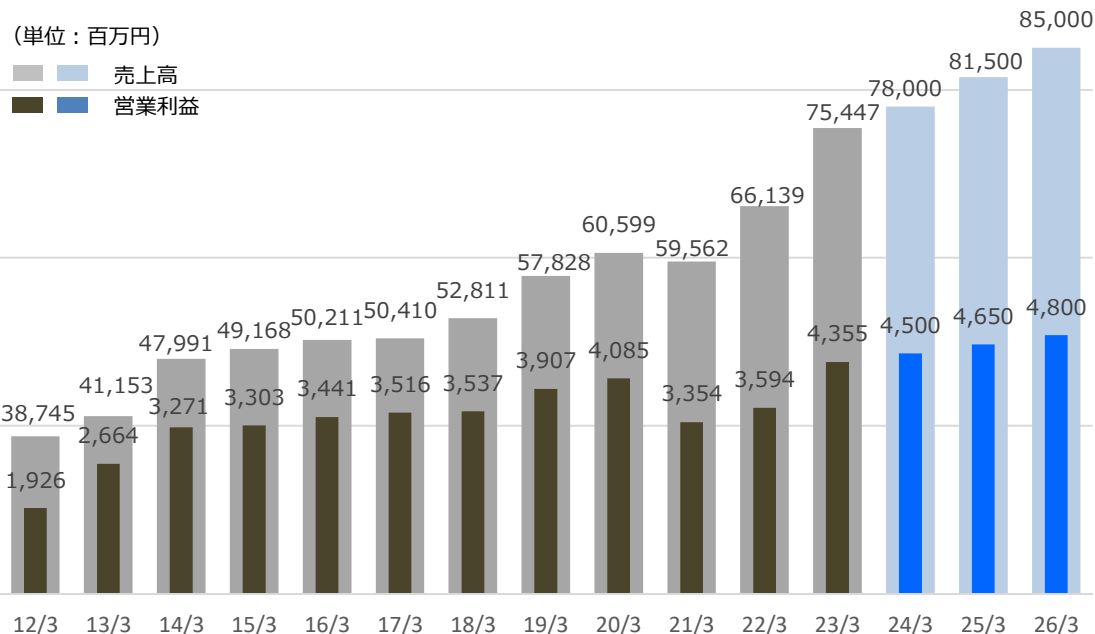
数値目標

最終年度（2026年3月期）

売上高 850億円
営業利益 48億円

2023年3月期実績

売上高 754億円
営業利益 43億円



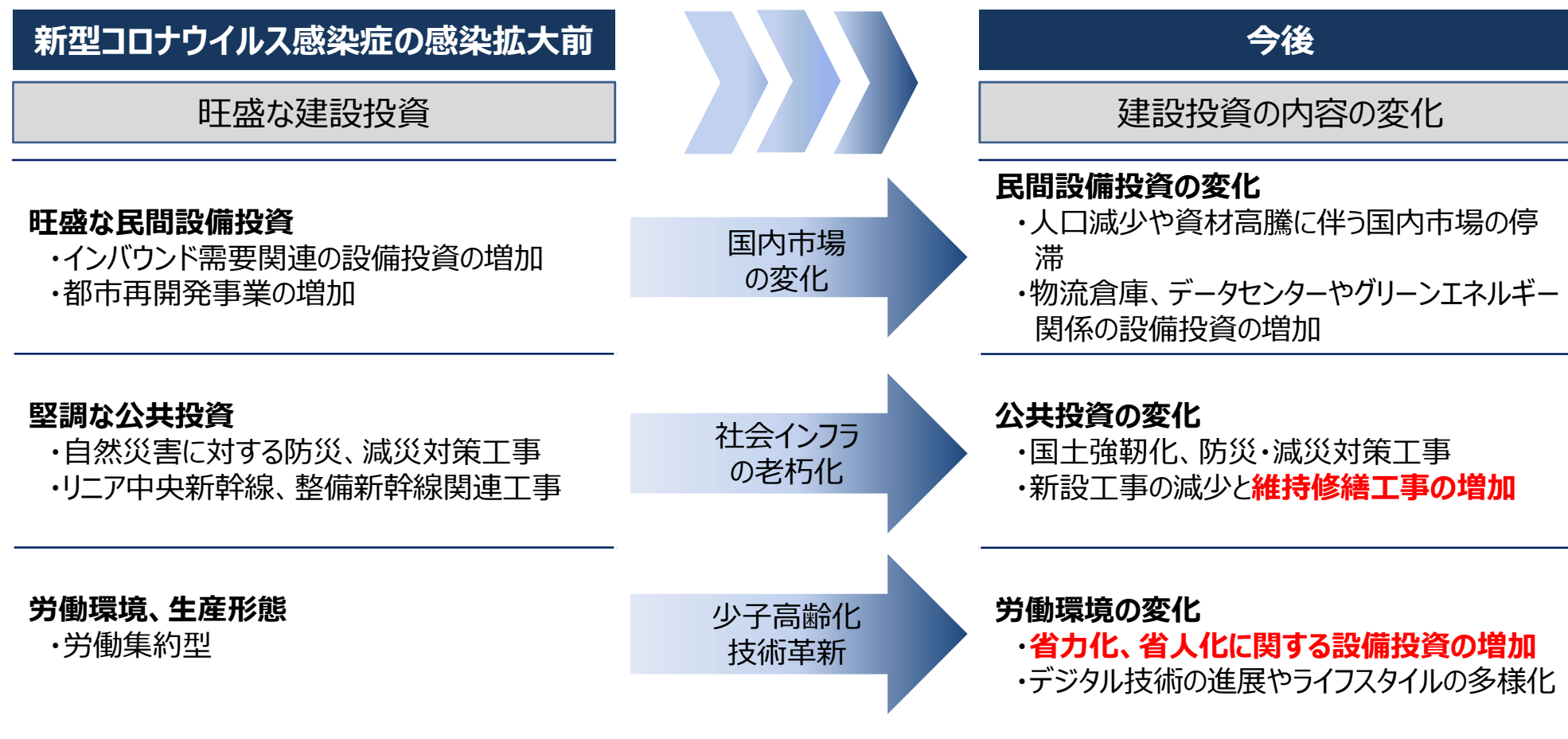
資本効率目標

ROE 10%以上
2023年3月期実績 **7.9%**

株主還元目標

DOE 4.0%以上
2023年3月期実績 **2.8%(配当 34円)**
12期連続増配

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大前は、インバウンド需要や都市再開発事業に関する設備投資が継続してきた
- ・今後は、産業構造やビジネスモデルの転換、サステナビリティ重視への社会の価値観の変化により、建設投資の内容に変化が生じると想定する



《長期目標》

2020年代中

連結売上高

1,000億円

《中期目標》

現状の販売体制を前提とした数値計画において、増収増益を目指す

連結 単位：百万円	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (計画)	2025年3月期 (計画)	2026年3月期 (計画)
売上高	75,447	78,000	81,500	85,000
営業利益	4,355	4,500	4,650	4,800
経常利益	4,563	4,700	4,800	5,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,414	2,900	3,000	3,150

当社グループは、中長期ビジョンの実現を目指し、毎年成果と課題を検証しながら事業環境の変化に対応するローリング方式による中期経営計画を策定している

オーガニック成長戦略

ポスト2020など多様な需要を取り込み、既存事業を強化し、産業インフラの「コメ」を継続して供給

主な取組み

- 拠点展開、新商材の開発
- 足場施工工事、レンタルなど販売手段の多様化
- 自然災害への対応
- 新規販売先の開拓、川上への営業強化 など

周辺強化による成長戦略

既存事業以外の取組みを強化すべく、未来への投資を積極的に実施

主な取組み

- 海外市場への展開
- 隣接する業界への進出
- デジタル化への対応
- ネット事業の拡大 など

成長を加速

M&A戦略

資金を収益事業に転換し、既存事業成長・周辺強化による成長を加速させる

M&Aにおける4つの視点

- | | |
|------------|----------------------|
| ① 隣接する業界 | 建設業界以外の業界に関わる企業をM&A |
| ② 事業の深掘り | 部材メーカー等をM&A |
| ③ 事業エリアの拡大 | 海外拠点保有企業をM&A |
| ④ 販売形態の拡充 | 既存事業とは異なる販売形態の企業をM&A |

最近のM&A実績

需要増加が見込まれる土木建築用足場等の架杭工事やアルミ製品の製造を営む会社をM&A

- | | | |
|------------|-----------|------|
| ● 2019年2月 | テックビルド(株) | 子会社化 |
| ● 2020年2月 | 東海ステップ(株) | 子会社化 |
| ● 2021年1月 | (株)フコク | 子会社化 |
| ● 2021年10月 | 栗山アルミ(株) | 子会社化 |

- ・SDGsの目標達成に向けて、ESGの観点で取り組みを進め、事業活動を通して社会的責任を果たすとともに、成長戦略を実現するための基盤強化を進める

E

環境負荷の軽減

- 環境関連資材の拡充
- 環境保護、省エネルギーへの取組
- 排出物の管理

④教育 ⑨イノベーション ⑫生産消費 ⑬気候変動



S

人材育成とダイバーシティ

- 通年採用による多様性のある人材の確保
- 多様な人材が活躍できる環境の整備

③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑧成長/雇用 ⑨イノベーション ⑪都市 ⑫生産消費 ⑯平和 ⑰実施手段



G

ガバナンスの強化

- ガバナンスの強化による潜在コストの顕在化防止
- 資本コストを意識した投資の実施
- 取締役会の実効性向上への取組

⑯平和



DX

デジタル技術の活用

- デジタル・トランスフォーメーション推進体制の整備
- デジタル技術を活用した収益獲得機会の拡大と業務プロセスの改善・生産性向上

⑧成長/雇用 ⑨イノベーション



- ・事業活動の継続や長期的な企業価値向上に資するため、以下のような取り組みを行った

人的資本の強化

多様な人材が活躍できる環境の整備・向上

- ・通年採用、中途採用による多様な人材の採用
- ・階層別研修、目的別研修、通信教育の実施、資格取得費用の補助
- ・譲渡制限付株式付与制度、GLTD(団体長期障害所得補償保険制度)の導入
- ・可能な範囲での在宅勤務の実施

SDGsの 目標達成への取組

SDGsの目標達成に向けた取組の実施

- ・SDGsの目標達成に能動的に取り組むため、品質保証に関する監査機能等に加え、SDGsの目標達成に資する取り組みの調査・研究及び立案等を担当するSDGs推進室を設置
- ・当社4工場（札幌工場、関東工場、滋賀工場、九州工場）全てにおいて「ISO14001」の認証を取得

デジタル技術の 活用

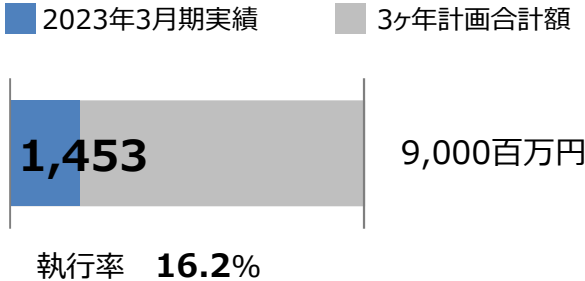
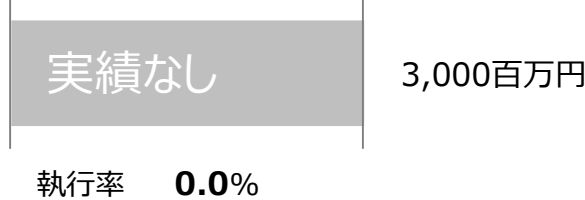
オンラインショールームの開設

- ・既存のホームページやカタログだけでは伝えきれなかった製商品の付加情報の提供など、利便性の更なる向上を目的として、2022年4月にオンラインショールームを開設

- ・資本コストを意識した成長投資を行うと同時に、株主還元を行い、高い資本効率を維持する

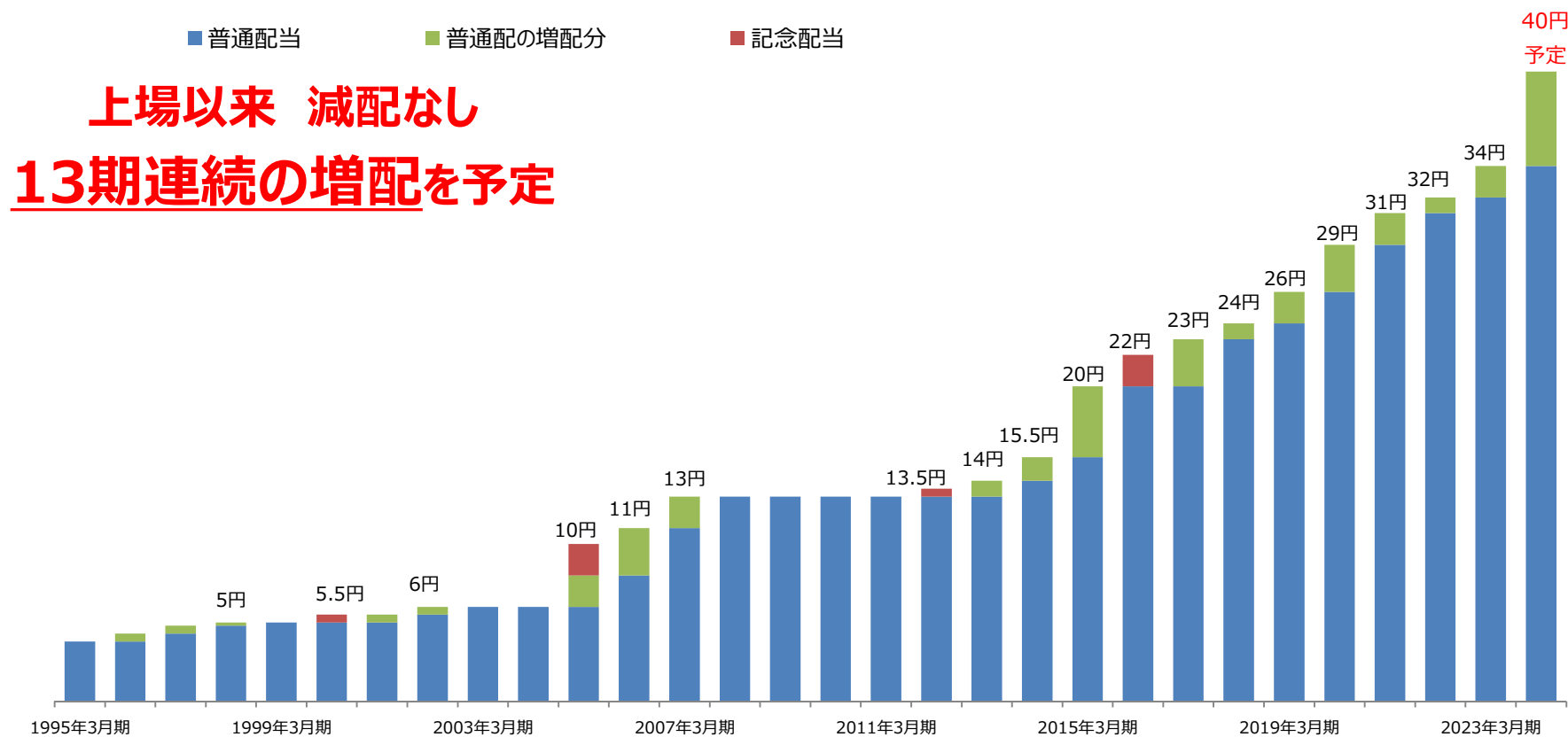


- ・前回公表した中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）に基づき、必要な投資を行った
- ・設備投資、戦略投資の状況を踏まえつつ、株主還元の充実を図った

内容	前回公表 2023年3月期～2025年3月期	今回公表 2024年3月期～2026年3月期
設備投資 生産設備の更新、 拠点の移転・建替 他	 2023年3月期実績 3ヶ年計画合計額 1,453 9,000百万円 執行率 16.2%	3ヶ年計画合計 9,000 百万円 増減率 ±0.0%
戦略投資 M&Aの実行 他	 実績なし 3,000百万円 執行率 0.0%	3ヶ年計画合計 3,000 百万円 増減率 ±0.0%
株主還元 継続的増配、自己株式買付	配当 844 百万円 (DOE 2.8%) 自己株式買付 291 百万円	DOE目標 4.0% 以上 目標引上 +1.5%

- ・DOE4.0%以上、ROE10.0%以上を目標としており、継続的増配を行う方針である

【配当金推移】



※2012年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり配当金は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております



◆ 見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績目標や将来見通しは、本資料の発表時において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります
したがって、実際の業績等は、様々な要因の変化により、
記載されている業績目標等と大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください

